

○ 小学校理科 第6学年 ②  
「植物のつくりとはたらき」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思表	技	知理
(1)	葉に日光が当たるとでんぷんができることから、日光が当たらない部分にはでんぷんができないことが分かるかをみる。	第6学年 B 生命・地球 (2) 植物の養分と水の通り道 植物を観察し、植物の体内の水などの行方や葉で養分をつくる働きを調べ、植物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。 ア 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができること。		○		
(2) ①	葉に日光が当たることにより、二酸化炭素が減り、酸素が増えることを、気体検知管の目盛りの変化を読み取ることによって理解できたかをみる。	第6学年 B 生命・地球 (1) 人の体のつくりと働き 人や他の動物を観察したり資料を活用したりして、呼吸、消化、排出及び循環の働きを調べ、人や他の動物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。 ア 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されること。		○	○	
(2) ②	光合成と呼吸による二酸化炭素の増減を、石灰水の色の変化によって確かめられるかどうかをみる。	(2) 植物の養分と水の通り道 植物を観察し、植物の体内の水などの行方や葉で養分をつくる働きを調べ、植物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。 ア 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができること。		○		